

クリーンエネルギーハイウェイの特性

1. クリーンエネルギーハイウェイとは

1) クリーンエネルギーハイウェイの基本的性格

- ・不特定多数の利用者に供する電力、ガスの輸送サービス
- ・産業基盤施設から、社会基盤施設の位置づけへ

2) クリーンエネルギーハイウェイの事業

- ・電力・ガスの輸送サービス事業（TSO）

3) クリーンエネルギーハイウェイの輸送サービスの対象

- ・超電導直流（SCDC）送電線は、再生可能エネルギー電力、基幹ガスパイプは、天然ガスに加えて水素及びバイオガス等のクリーンエネルギーの輸送を対象

4) クリーンエネルギーハイウェイの埋設空間

- ・高速道路空間を活用し、併せて高速道路の機能を高度化

2. クリーンエネルギーハイウェイの整備効果

1) 温室効果ガスの排出削減に大きく貢献

- ・再生可能エネルギーや水素の利用拡大により、温室効果ガス排出削減に大きく貢献（菅総理の2050年温室効果ガス排出ゼロ政策に対応）

2) 地方創生への効果

- ・電力プールとガスプールが沿線で利用できることで、地域分散型新エネルギー事業（日本版シュタットベルケ）の展開が加速し多核連携型の新たな国造りの強力な手段

3) ポストコロナの新時代に向けた経済活性化

- ・クリーンエネルギーハイウェイの整備事業により、エネルギー事業はもとより、鉄鋼、建設、電機、電線、発電プラント等の幅広い企業活性化に寄与



「クリーンエネルギーハイウェイ」事業の早期実施へ